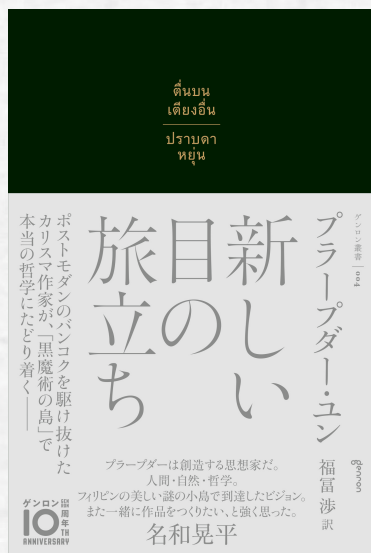


タイ現代文学のカリスマが悩める都市住民に送る、等身大のメッセージ。

プラープダー・ユン『新しい目の旅立ち』

直販サイトにて先行発売&2月7日（金）より書店発売

株式会社ゲンロン（本社：東京都品川区 代表取締役：上田洋子）は、プラープダー・ユン著 / 福富渉訳『新しい目の旅立ち』[ゲンロン叢書 004] を 2020 年 2 月に出版します。



その島は「黒魔術の島」と呼ばれていた —
経済成長に沸き立つバンコクを飛び出し
フィリピンを取材中のプラープダーは、
シキホール島の噂を耳にする。
自然とのふれあいを探りつつも
飛躍の手がかりをつかめなかった作家は、
半信半疑で訪問を決意する。
「魔女」との対面、人々との交流を経て
再発見したのは都市の自分だった。
スピノザ、ソロー、カジンスキー、ラヴロック。

「新しい目」で世界と出会い直す、
小説でも哲学でもある旅の軌跡。

ゲンロンが 2018 年より刊行する単行本シリーズ「ゲンロン叢書」
第 4 弾はタイ現代文学の担い手、プラープダー・ユンの哲学エッセイ！
「ゲンロン叢書」シリーズ、第 4 弾ではラインナップに初の海外文学が加わります。

本書『新しい目の旅立ち』は、タイの作家プラープダー・ユンが 2015 年に発表した哲学エッセイ「違うベッドで目覚める」を翻訳したものです。2016 年から 2018 年まで批評誌『ゲンロン』で連載し、大好評を博した翻訳を改稿し、一冊の書籍にまとめました。単行本化にあたり、著者による日本語版への序文、および訳者解説を新たに収録しています。「訳者解説」では作家や作品論のみならず、タイの社会・文化情勢の解説もあり、本書のさらなる理解を助けるものになっています。

著者：プラープダー・ユン

1973 年生まれのタイの作家。同世代の映画監督のアピチャップン・ウィーラセタクン (1970 年生まれ)、作家のウティット・ヘーナムーン (1975 年生まれ) らとともに、タイ・ポストモダンの実力派として人気を博しています。2002 年、短編集『可能性』が東南アジア文学賞の短編部門を受賞、2017 年には、優れた中堅のクリエイターにタイ文化省から贈られるシンラパートーン賞の文学部門受賞しました。文筆業のほか、アーティスト、グラフィックデザイナー、映画監督、さらにはミュージシャンとしても活躍しています。

プラープダー・ユンの作品では、日本ではこれまで、短編集『鏡の中を数える』(宇戸清治訳、タイフーン・ブックス・ジャパン、2007 年) や長編小説『パンダ』(宇戸清治訳、東京外国語大学出版会、2011 年) などが出版されています。また、第 30 回東京国際映画祭では、2 作目の長編映画監督作『現れた男』がワールドプレミア上映されました。2017 年には英訳短編集 *The Sad Part Was* が、2018 年には同じく短編集 *Moving Parts* が刊行され、さらに中国語やイタリア語でも翻訳が出版されるなど、活躍の場を世界に広げている作家です。

訳者：福富渉

1986 年生まれの気鋭のタイ文学者、タイ語翻訳・通訳者。鹿児島大学グローバルセンター特任講師。著書に『タイ現代文学覚書』(風響社、2017 年)、訳書にウティット・ヘーナムーン『ブラータナー：憑依のポートレート』(河出書房新社、2019 年) があります。同作品は岡田利規の演出、タイの俳優出演で演劇作品として上演され、高い評価を得ましたが、福富は翻訳とリサーチでこのプロジェクトに参加しました。



『新しい目の旅立ち』刊行記念イベント開催！ プラープダー・ユン氏来日決定！

ゲンロンカフェにて刊行記念イベントを 2 回にわたり、開催いたします。プラープダー・ユン氏、翻訳者の福富氏ほか、豪華ゲストをお招きします。みなさまのご参加をお待ちしています。

『新しい目の旅立ち』刊行記念イベント第 1 弾！

2020 年 3 月 18 日 (水)

プラープダー・ユン、東浩紀、福富渉

『新しい目の旅立ち』刊行記念イベント第 2 弾！

2020 年 3 月 20 日 (金)

プラープダー・ユン、大森望、藤井太洋、福富渉、東浩紀

場所：ゲンロンカフェ <https://genron-cafe.jp/>

〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-11-9 司ビル 6F TEL. 03-5719-6821

株式会社ゲンロンは 2020 年 4 月に創業 10 周年を迎えます。

節目の年にあたり、大山顕『新写真論』(3 月刊行予定)、東浩紀対談集、東浩紀インタビュー集(ともに 4 月刊行予定)、黒瀬陽平『芸術と巡礼』など、ゲンロン叢書シリーズを続々刊行いたします。今後のゲンロンにもどうぞご期待ください。

【目次】

日本語版のための序文

序文 (目を開くまでの時間の来歴)

1. 黒魔術の島

あるいは、時間のレンズの中のスピノザと蜚についてのまやかし

2. 魔女 ソロー 魔術師 テロリスト

そして心騒ぐ孤独

3. まやかし

訳者解説

【書籍紹介】

プラープダー・ユン著 福富渉 訳

『新しい目の旅立ち』[ゲンロン叢書 004]

| サイズ | ハードカバー・四六判変形

| ページ数 | 256 ページ

| ISBN コード | 978-4-907188-34-4

| 定価 | 2200 円 + 税

| 発売日 | 2020 年 2 月 7 日

| 装幀 | 水戸部功

| 電子版 | あり (近日配信予定)

| 発行所 | 株式会社ゲンロン <https://genron.co.jp/>

【問い合わせ先】

株式会社ゲンロン

東京都品川区西五反田 1-16-6 イルモンドビル 2F Tel 03-6417-9230 FAX03-6417-9231

担当 横山宏介 (よこやま・こうすけ) E-mail info@genron.co.jp